

クラス	303	担当教員	松元 佑
テーマ	こどもの発達の理解と支援について		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書】</p> <p>「第 2 章 障がい児保育に必要な障がいの基礎知識 4 知的障がい」（野村朋, 荒木美知子編『主体性をはぐくむ障がい児保育』.文理閣.）2020.</p> <p>「療育プログラム開発の成果－実践と研究－」（竹内謙彰, 荒木美知子, 松元佑, 荒木穂積『インクルーシブ社会研究 22 療育開発プログラムの 20 年』）2023.</p> <p>【論文】</p> <p>「障害児保育から特別支援教育への「つながり」を問う－移行期支援の継続性に関する一考察－」日本福祉大学教育・心理学論集第 18 号.2026 年発行予定.</p> <p>「幼児期における均等配分の発達の变化」.立命館産業社会論集.59 卷 1 号 pp.281-297.2023.</p> <p>「幼児期の配分課題における発達の变化: 対称的關係に着目して」立命館産業社会論集.第 58 卷 2 号 pp.165-180.2022.</p> <p>【研究課題】 幼児期における対称的關係の認知発達、療育プログラムの開発</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：人間発達, 発達支援, 発達保障, 療育プログラム			
<p><b>目的、内容、方法、授業計画等：</b></p> <p>人間発達を学んでいくなかで、障害のある子どもの発達保障について検討していきます。乳幼児期だけの発達支援ではなく、児童期、青年期以降の発達も考えながら、どのような支援が考えられるのか。理論的な内容を学ぶだけでなく、実践内容（療育プログラムの開発など）についても取り組んでいく予定です。ゼミの内容としては以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳幼児期を中心に人間発達について深く学んでいく。</li> <li>● 発達保障を基本とした支援について検討していく。</li> <li>● これらを学んでいくなかで自身の卒業研究のテーマを決めていき、研究計画を作成する。</li> </ul> <p>ゼミの年間スケジュールは以下を予定しています。</p> <p><b>3 年次前期：</b>各自、興味関心のあるテーマをもとに文献を読んで発表していきます。また、発達保障に関する映画などを視聴して、学びを深めていく予定です。さらに、発達支援の施設等の見学もしていく予定です。</p> <p><b>3 年次夏休み：</b>夏休みを使って、愛知県外の障害者施設へ見学などのゼミ合宿をする予定です。※2026 年度は滋賀・京都でゼミ合宿する予定です。</p> <p><b>3 年次後期：</b>前期に引き続き、文献などを読んでいき、研究テーマを決めていきます。研究テーマをもとに研究計画を作成していきます。併せて、発達保障を学ぶために他大学との交流を予定しています。</p> <p><b>3 年次春休み：</b>卒業研究を進めるために、作成した研究計画をもとに準備していく予定です。</p> <p><b>4 年次：</b>春休みまでに準備してきた卒業研究を進めていき、論文または報告書としてまとめていきます。</p> <p>このように、ゼミでは人間発達や発達支援などの知識を論文や専門書などの文献だけでなく、幅広く映像作品や漫画なども使用しながら、深めていきます。さらに現場での見学、研究会の参加も重ねることで、発達保障についても豊かに学んでいき、卒業研究に活かしていきます。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p><u>主体的にゼミ活動に参加し、積極的に卒業研究を進めていく学生を募ります！</u></p> <p>ゼミ活動では、いろんな経験を積みながら、2 年間の学びを豊かに広げていくため、主体的なゼミ参加が求められます。くれぐれも受身的にならないように気をつけてください。主体的な参加で得た豊かな経験をもとに卒業研究も熱意を持って取り組むことを期待しています。</p> <p>と願っていますが、まずは皆さんとの対話（相談）を大切にしながら、（大変だけど）頑張りたいと思えるゼミ運営をしていきます。一緒に発達や支援のあり方について探究していくことを楽しみにしています。</p>			